

平成23年11月20日
今週のベストショット



H23. 11. 20 和白交流グラウンド第2試合 三友クラブ 対 新町ウインズ戦
1点差に迫られた四回裏、貴重な追加点をスクイズで決める新町ウインズ1番松岡克佳選手。
(写真と文：奈多サンデーズ 八島久徳)

奈多グラウンド

奈多フェニックス	000102	3	勝投手：池見	HR：なし
三苦ホーネッツ	100001	2	負投手：矢野	HR：なし

初回、両チームとも一死後2番が三塁打を放つ。フェニックスはこの好機を得点に結び付ける事が出来なかったが、ホーネッツは3番矢野義幸選手の犠牲フライで先制に成功する。先制したホーネッツは押し気味に試合を進めるがフェニックス内野陣の堅守に阻まれ追加点を奪う事が出来ない。やや試合が膠着してきた四回に、フェニックスは3番安河内祐貴選手の二塁打を4番池見和彦選手が犠打で三進させると、5番今林英二選手がレフト前に運びついに追いつく。勢いの出てきたフェニックスは、六回にも実延彰洋選手のこの日二本目の三塁打で2点を加えついに逆転に成功する。ホーネッツもその裏、4・5番の連続二塁打で1点差としたが一步及ばなかった。強風の中、両チームとも堅守を見せ、特にホーネッツの1・2番を封じ込めたフェニックスの堅い内野が光った好ゲームだった(記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦)



フェニックスバッテリーは、ホーネッツのスクイズを外し、ランナー矢野選手を挟殺する。



俊足のホーネッツ稲葉選手の盗塁を阻止するフェニックス内野陣。

和白交流グラウンド第1試合

三苦三球会	0 1 0 1 2 2 1	7	勝投手：吉留	HR：澤田
新町ウインズ	0 0 0 0 1 1 0	2	負投手：藤田	HR：藤田

ウインズ藤田征司投手は、一回2奪三振、一方の三球会吉留投手も三者連続内野ゴロと、リーグを代表する両エースの投手戦を予感させる立ち上がりとなった。二回表三球会は、先頭の澤田剛選手が左中間に先制本塁打を放つと、四回にも1点を追加。五回には二死満塁から5番永吉信也選手の中前ヒットと死球で2点を追加。六・七回にも加点し試合を決めた。ウインズは四回裏、二塁打で出塁した今林孝智選手が桐島司選手の中前ヒットで本塁を突くがタッチアウト。五回に藤田投手の本塁打で1点を返すも吉留投手に要所を締められた。

記録には残らないが、三球会はセカンド原口剛選手、ショート澤田選手、センター濱口裕也選手の攻守がチームの勢いを感じさせた。（記事 ブルーマーリンズ友重正司）



二回表、三球会澤田剛選手の右中間本塁打で先制する。



四回裏、ウインズ今林孝智選手が本塁を突くも、三球会藤澤康隆捕手がナイスブロック。



五回裏、ウインズ藤田征司投手は右越え本塁打で1点を返す。



六回表、三球会澤田剛選手のこの日3本目の安打は右中間への二塁打。

和白交流グラウンド第2試合

三友クラブ 0002 2 負投手：足達 HR：なし
新町ウインズ 1022 5 勝投手：早田 HR：なし

新町ウインズは先発早田主大投手が初回2者連続三振と最高のスタートを切ると、その裏2番泉圭祐選手がサード強襲ヒットと盗塁を決め、3番今林孝智選手が中前タイムリーで返し先制。三回表三友クラブは、一死満塁で4番中嶋密選手と願ってもないチャンスで打球はサードへ。これをウインズ渡辺三塁手が好捕しランナーにタッチして一塁へ。見事Wプレーでこのピンチを救った。ピンチの後にチャンスあり、その裏ウインズは1番松岡克佳選手、2番泉選手の連続安打に3番今林選手の死球で満塁として、4番桐島司選手が期待に応える中前2点タイムリー。四回表3点ビハインドの三友クラブは、相手エラーで出塁の谷崎興一郎選手を6番駄原孝一郎選手が意地の左中間二塁打で返すと、7番坂本耕司選手のセーフティ、8番安永政信選手の遊ゴロの間に2点目を挙げ、なお満塁。しかしウインズ早田投手が踏ん張り同点を許さない。その裏、ウインズは8番田坂之男選手の左前、代打城戸和裕選手の三塁線を破る二塁打で無死二・三塁とすると、1番松岡選手のスクイズが決まり、さらにWスチールでダメ押し5点目。三友クラブ足達投手は6奪三振ながら、ウインズ一丸の攻撃に防戦一方だった。寒風吹きすさぶ中、Wヘッダーで2試合目のウインズは体が動いていたが、三友クラブは寒さに体も打線も冷え込んだ印象を受けた。(記事：奈多サンデーズ 八島久徳)



初回連続三振で好スタートを切るウインズ早田投手。



初回先制タイムリーを放つウインズ今林孝智選手。



好守で満塁のピンチを救ったウインズ渡辺三塁手。



意地の二塁打を放つ三友クラブ駄原孝一郎選手。



四回裏スクイズで生還するウインズ田坂之男選手。



得意のライズボールで三振を獲る三友クラブ足達投手。

第2週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

11月20日は、厳しい冷え込みの中、3試合が行われました。

23日に予定されていた試合は雨で延期になりました。

奈多グラウンドでのフェニックス対ホーネッツ戦では、優勝争いの奈多サンデーズメンバーが見守る中、息詰まる投手戦が繰り広げられました。1-1で迎えた六回表二死から実延彰洋選手の決勝2点タイムリーが飛び出しました。この一球は明らかにホーネッツ矢野投手の失投でした。それを見逃さなかったフェニックス実延選手はさすが優勝を争っているチームの軸打者です。その裏ホーネッツも同点のチャンスをつくるものの、池見投手がここの一番を締めました。和白交流グラウンド第1試合の三球会对ウインズは、優勝争いを展開している三球会が主砲澤田剛選手を中心に10安打を放ち、ウインズ藤田投手を打ち崩し勝利しました。第2試合の三友クラブ対ウインズは、晴れてはいるものの時折吹く北風に三友クラブは体が動かず、ウインズ早田投手を捕まえることができない一方、好投手三友クラブ足達投手は5点を失いました。三友は、0-1で迎えた3回表に一死満塁のチャンスを活かさなかったことが全てでした。この試合の勝利の立役者は、粘り強く投げた早田投手とこのWプレーをとったウインズ渡辺三塁手だったと思います。このプレーにウインズは打線で応えましたね。

さて、11月27日は、

最終戦まで連戦の続く三苦三球会 VS 奈多クラブ（青松園A）

次週の大一番の前に弾みをつけたい奈多フェニックス VS ソルトベイスターズ（青松園B）

優勝戦線からは外れたが実力者同士の対決、雁ノ巣ライナーズ VS 三苦ホーネッツ（和白交流G第1試合）

お互いに最終戦は勝利で飾りたい三友クラブ VS レッドサンデーズ（和白交流G第2試合）

の4試合です。

夜明けが遅くなって、試合前の練習がままなりません。十分体を温めて試合に望んでください。今日みたいに暖かくなるといいですね。